

授業科目名	社会福祉	教員名	高橋 博 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	選択
科目番号	SEN303	配当年次	3年前期		幼稚園教諭	選択
授業形態	講義				保育士	必修
単位数	2単位				こども音楽療育士	
科目					情報処理士	
施行規則に定める科目区分						
一般目標	現代社会における社会福祉の取り巻く環境をふまえ、理念、歴史、法・制度、サービスについて理解する。そして、その相談援助の方法と技術を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。</li> <li>2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>3. 社会福祉における相談援助について理解する。</li> <li>4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。</li> <li>5. 社会福祉の動向と課題について理解する。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	社会福祉の制度や実施体系、歴史の変遷を踏まえ、子ども家庭支援の視点を理解しつつ、社会福祉の現代的意義を理解する。そして問題解決を図るための相談援助の方法と技術を学ぶ。					
履修条件・注意事項						
授業計画	<p>第1回：講義概要の説明（本講義の主旨および講義計画について） 社会福祉の意義と子ども家庭支援（目標1） ・人生のライフコースと社会福祉</p> <p>第2回：現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷Ⅰ（目標1） ・社会福祉の理念と歴史の変遷</p> <p>第3回：現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷Ⅱ（目標1） ・現代社会の生活問題 ・社会福祉の現代的課題</p> <p>第4回：社会福祉の制度と実施体系Ⅰ（目標2） ・社会福祉行政と実施体系 ・社会福祉施設の種類と運営</p> <p>第5回：社会福祉の制度と実施体系Ⅱ（目標2） ・社会福祉と社会保障の制度</p> <p>第6回：社会福祉の制度と実施体系Ⅲ（目標2） ・社会福祉の専門職</p> <p>第7回：社会福祉の制度と実施体系Ⅳ（目標2） ・子ども家庭福祉と社会福祉</p> <p>第8回：社会福祉の制度と実施体系Ⅴ（目標2） ・少子化対策から子ども・子育て支援へ</p> <p>第9回：社会福祉の制度と実施体系Ⅵ（目標2） ・子ども・子育て新システム</p> <p>第10回：社会福祉の制度と実施体系Ⅶ（目標2） ・共生社会の実現と障害者施策</p> <p>第11回：社会福祉の制度と実施体系Ⅷ（目標2） ・高齢者福祉の展開</p> <p>第12回：社会福祉における相談援助Ⅰ（目標3） ・相談援助における理論と原則 ・相談援助の対象と過程</p> <p>第13回：社会福祉における相談援助Ⅱ（目標3） ・相談援助の方法と技術</p> <p>第14回：社会福祉における利用者に関わる仕組み（目標4） ・情報提供と第三者評価</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の権利擁護と苦情解決</li> </ul> <p>第15回：社会福祉の動向と課題Ⅱ（目標5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅福祉・地域福祉の推進</li> <li>・諸外国の動向</li> <li>・振り返りとまとめ</li> </ul> <p>期末試験</p>
授業外学修時間の確保について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回講義の最後に、次回の講義内容のテキスト箇所を伝えるので、入念に予習しておくこと。また、不明な点等は調べておくこと。</li> <li>・講義を受けて、レポート課題があるときは、必ず次回の授業までにメールで提出すること。</li> <li>・講義で使った資料やノートのパイル管理を徹底すること。</li> <li>・講義で使用したテキスト箇所を必ず復習しておくこと。</li> </ul>
学生に対する評価	<p>レポート・発表30%、期末試験70%</p> <p>なお、レポート等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載してメールで返信する。</li> <li>・授業にて口頭で行う。</li> </ul>
テキスト	<p>一瀬小百合著 『社会福祉とわたしたち』 萌文書林 ISBN978-4-89347-386-8</p>
参考書・参考資料等	<p>『幼稚園教育要領（平成29年告示）』</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』</p> <p>『保育所保育指針（平成29年告示）』</p>
担当者からのメッセージ	<p>自学自習、ディスカッション、発表など積極的なアクティブラーニングに取り組むこと。</p>
オフィスアワー	<p>メールにて対応する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県行政の立場で30年以上社会福祉部門に従事してきた実務経験を活かし、県内の社会福祉の歴史と具体的な実情に触れながら講義内容の理解を促していく。</li> <li>・現在、県社会福祉士会に属し、社会福祉施設の訪問調査等に従事したり、複数の社会福祉法人の役員を務める中で得た最近の社会福祉の動向や課題に触れながら最新の情報提供を行っていく。</li> </ul>